

“まちづくり”を考える情報誌



おっ!! まっちゃん

vol.

149

Let's まちづくり from now on

2025 AUGUST

編集発行：群馬県県土整備部都市計画課



大間々官民共創デザイン エリアビジョンイラスト



官民共創を促進させるエリアビジョンによるまちづくり

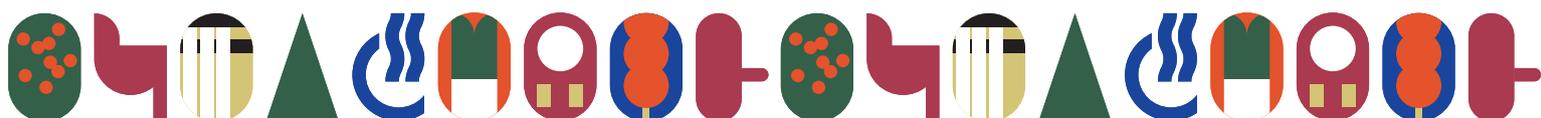
- 官民共通のまちづくりの指針「大間々官民共創デザイン」
- 官民共創の暮らしづくりで地域の未来に彩りを繋げる

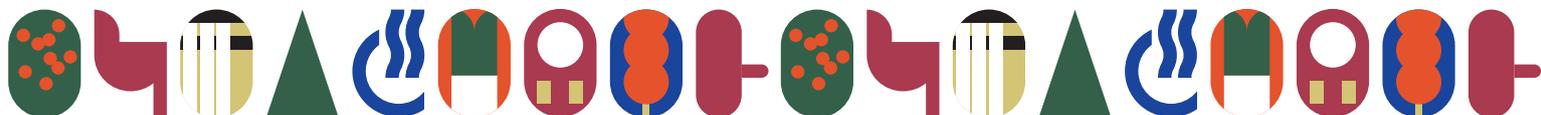
🔴トピックス カメラ画像のAI解析を活用した太田市街地渋滞対策実証実験

🔴投稿 富岡市景観まちづくり講演会

～街の歴史と景観を生かした街づくり～

🔴マーチィ'sROOM ●マーチィに訊け 【特別編】まちづくりライブラリーからおすすめの本
「いちばんやさしい入り口へようこそ！」





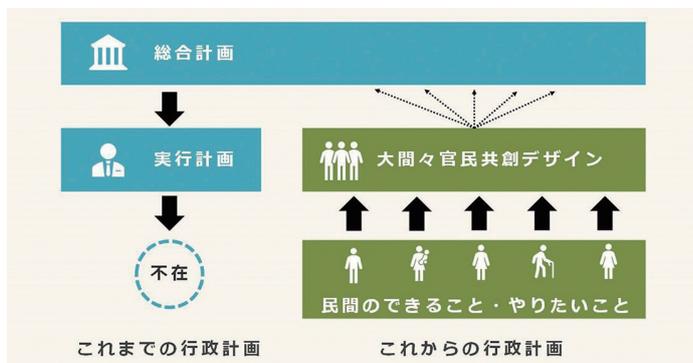
官民共通のまちづくりの指針

「大間々官民共創デザイン」

みどり市都市建設部都市計画課

■ はじめに

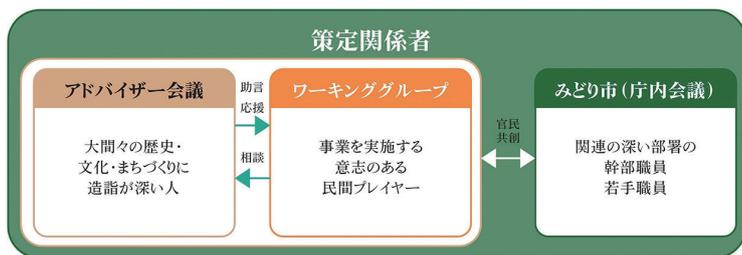
みどり市では民間と行政が一体となってまちづくりに取り組んでいくための指針となる「大間々官民共創デザイン(※以下「デザイン」という)」を令和7年3月に策定しました。デザイン策定後の実行者が不在にならないよう、民間の「やりたいこと、できること」を基軸に内容を検討し、民間の参入しやすさに配慮しました。また、官民でエリアビジョンを共有することで民間が主体的にまちづくりに関わるきっかけとなるよう策定しました。



大間々官民共創デザインの特長

■ 多様な主体で構成された策定関係者

様々な立場の方の意見やアイデアをデザインに反映するため、また、デザイン策定後の実行性を高めるために、市民、民間事業者を中心に策定メンバーを募り、ワークショップ(※以下「WS」という)等を通じて議論を重ねました。併せて、群馬県都市計画課及び官民連携まちづくりプロジェクトチームにも策定支援をいただきました。



デザイン策定体制

- ワーキンググループ…市民、民間事業者。既にまちなかで取組をしている方やこれから事業をしたい方
- アドバイザー会議…各種団体の長。大間々の歴史、文化、まちづくりに造詣が深い方
- 庁内会議…まちづくり関連部署の幹部職員及び若手職員

■ 策定までの道のり

デザインの対象エリアとなる大間々地区では令和4年度より観光課にてリノベーションまちづくり事業を開始し、その取組に伴走する形で令和5年度より都市計画課で本デザイン策定に着手しました。WSでは、まず、新しいものをゼロからつくるのではなく、今あるまちの資源を活かすというリノベーションまちづくりの考えに基づき、大間々の魅力や課題を再整理しました。その後、魅力や課題に対して、「どんな暮らしをしたいのか」、「どんなまちにしたいのか」について話し合いました。さらにはその実現のために当事者としてできる行動を考えました。

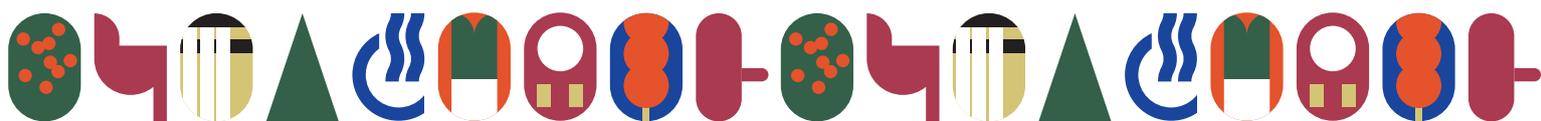
また、WSには庁内会議(若手職員)も参加し、一緒に議論し、民間主導の取組を行政がどう併走できるかを考えました。

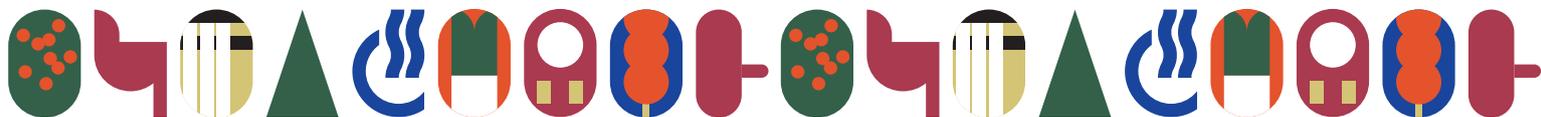


庁内会議WS

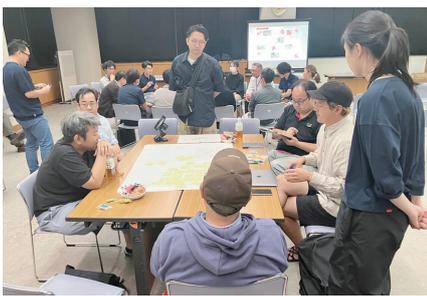


第1回・第2回ワーキンググループWS





策定過程後半の合同委員会では、WSで出た意見を基に「情報発信、ローカルメディア」については影山裕樹氏（合同会社千十一編集室）、「公共空間活用」については西村浩氏（株式会社ワークヴィジョンズ）を講師にお招きし、レクチャーをいただき、取組の解像度を上げました。



第1回合同委員会WS



第2回合同委員会 講演 西村浩氏



第2回合同委員会 トークセッション

■ エリアビジョン「おおま ま わがま ま あるがま ま」

このような過程を経て、エリアビジョンを「みらいをつくる、みんなのさんぽ『おおま ま わがま ま あるがま ま』と定めました。「あるがま ま」はもともとある個性や資源、「わがま ま」は自己表現や当事者としての行動を意味し、豊かな個性が会うことで一人ではできなかったことが実現できるまち「おおま ま」としました。キャッチコピーの「みらいをつくる、みんなのさんぽ」の「さんぽ」にはHOP STEP JUMPの3歩の他に「三方よし」、「散歩（＝ウォーカブルなまちづくり）」の意味が込められています。

また、表紙にも使用させていただきました「エリアビジョンを踏まえたまちの将来像」を市内在住のデザイナー齋藤麻生氏（Mamedori）に描いていただき、随所に「わがま ま」が溢れた今後のまちづくりが楽しみになるワクワクするイラストができあがりました。

■ 都市経営課題と戦略

行政では、エリアビジョンの検討と併せて都市経営課題の把握と、課題解決のための戦略を検討しました。検討の結果、かつて宿場町として栄えた大間々はモータリゼーションの進行やライフスタイルの変化に伴い、ヒトとカネが地域外に流出したことにより、まちなかの衰退を招き、ひいてはまちなかの魅力が低下していることが明らかになりました。この課題を踏まえ、エリアビジョンの方針を「民間と行政が連携してまちなかのHUB機能を再び高めることでエリアの魅力を向上させヒトとカネが集まる『おおま ま』を作る」としました。

■ リノベーションまちづくり@みどり

リノベーションまちづくりとは遊休不動産などの空間資源のみならず、人的資源、歴史的資源を含む地域の潜在資源をフル活用して、地域課題の解決を図り、エリア価値向上を目指す取組です。

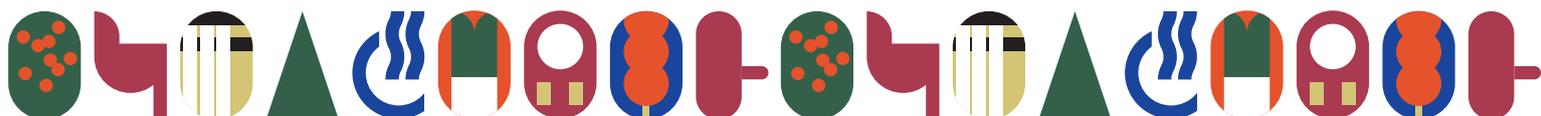
みどり市では、この事業を通じてまちに携わる実践者の育成と、その方々の活動のサポートを進めています。具体的には、令和4年度にカルティベートプログラムと称して講演会やWSを開催し、まちの資源を掘り起こし、主体的にまちに関わっていく人を発掘しました。令和5年度には、民間主導のまちづくりを進める上でキーとなるまちづくり団体の創出を目指し「家守塾」を開催しました。令和6年度には、まちなかにある遊休不動産を題材として取り上げ、実際にまちを動かす人材を育成するため、3日間の短期集中実践型スクールとして「リノベーションスクール」を開催しました。

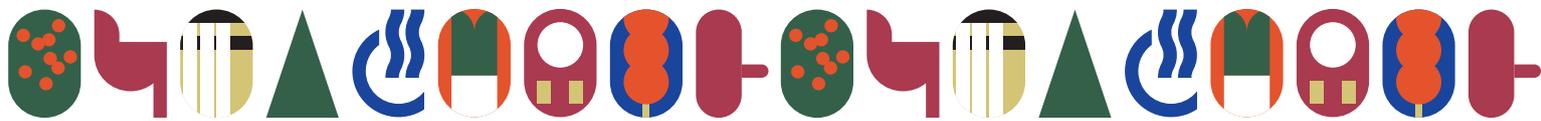
これらの取組により、徐々にですがまちに新たな兆しが見え始めているところです。一方、まちにはまだまだ多くの遊休不動産があります。この取組を可視化し、遊休不動産のオーナーが関わりやすい環境の構築を進め、新たな実践者が活動できる場づくりが重要なのだと考えています。

■ おわりに

これから、官民が適切な役割分担のもと、手を取り合ってまちづくりに取り組み、エリアビジョンの実現、都市経営課題の解決をめざします。行政としては民間の取組を支援するため「リノベーションまちづくり」と「ウォーカブルなまちづくり」を推進していきます。

まちなかの兆しを兆しのまま終わらせないためにも、「まちづくりは人づくり」であることを肝に銘じ、実践者とともに魅力あるまちづくりを進めていきたいと思っております。





官民共創の暮らしづくりで 地域の未来に彩りを繋げる

暮らしづくり会社いろという 代表取締役 片山 翔平

みなさん、こんにちは！暮らしづくり会社 いろというの片山と申します。

さて、今回はテーマが官民共創ということで、弊社が、現在取り組んでいる事業等についてご紹介させていただきます。そして、そのプロセスから、地域に関わる官と民と地域の人にとって大切だと感じたことについて記したいと思います。

弊社は、「彩(いろ)とりどりの暮らし」をビジョンに掲げて仲間と立ち上げた会社で、桐生・みどりエリアの“暮らしの多様性と可能性”を未来へ繋ぐ事業に取り組んでいます。



暮らしを彩る生き方を選ぶことができる地域は存続する
=暮らしの“彩り”を増やす事業をつくり、地域を未来に繋ぐ

いろというのビジョン

デジタル場所をつくっています。また、今後は地域のポテンシャルを生かしたツーリズム事業等にも取り組みます。

大変ありがたいことに、現在は、楽しい仲間やお客様に囲まれ、とても充実した毎日を過ごしていますが、ここに至るまでの間、様々な試行錯誤と課題解決の連続でした。空き家の暫定利活用と段階的開発の実践手法の検討、シェア型飲食事業の許認可申請、場づくりのための毎日開店のオペレーション、共感する仲間のコミュニティづくり、関係者との協議、関係する行政規則・制度に対する調整・提案、、、とにかく足掻き続け、毎回、答えのない問いに対して、知恵を出し合い向き合ってきました。

今私たちに求められているのは、官側も民側も地域の応援者も、それぞれの立場から、ビジョン・志・未来を共有し、行動していくことです。官は、民の属人性と固有性を信頼し、地域再生事業を応援する。民は、官が描くビジョンを理解した上で、事業を通じて公共の一翼を担う。そして、地域で暮らす人々は、各々の動きを全力で応援する。過去の常識が通じない未曾有の縮退時代の今だからこそ、私たちは、相互にボーダー(境界)を超え合って、深くコミュニケーションを取り、ここにしか無い答えを創り上げていく必要があります。これが、官民共創の本質だと思います。

今回は、暮らしづくり会社として感じてきた要点の一部を記しましたが、もし、ご興味を持って頂けましたら、Haji-Maruにもお越しください。同志の皆様と、どこかでご一緒できる機会を楽しみにしております。

この度は、貴重な機会を頂き、ありがとうございました。

具体的には、みどり(大間々)エリアにおいて、築100年の30年空き家だった建物を借り上げ、プロの手も借りながら仲間とリノベーションして、暮らしを彩る複合施設「Haji-Maru」をつくりました。現在、施設内の曜日貸し型のシェアレストラン・カフェ・バーには6事業者が入居し、民間設置型の図書館(通称、“みんなとしょ”)には18オーナーが自分の本棚を構えています。また、シェアハウス・ゲストハウス予定スペースでは入居予定者と若手建築士チームとのコラボでオープンに向けた準備を進めています。働き方(創業・複業)や、日常の時間の過ごし方(飲食・読書・余暇)、住まい方(居住)の多様性や可能性を彩る事業に取り組むことで、楽しい暮らしがハ



第1弾PJ Haji-Maru/暮らしを彩る複合施設



曜日貸しシェアレストラン・カフェ・バー“Haji-Maru Cafe”



みんなの図書館“Haji-Maru文庫”

【プロフィール】 craft-life 代表・株式会社いろという 代表取締役

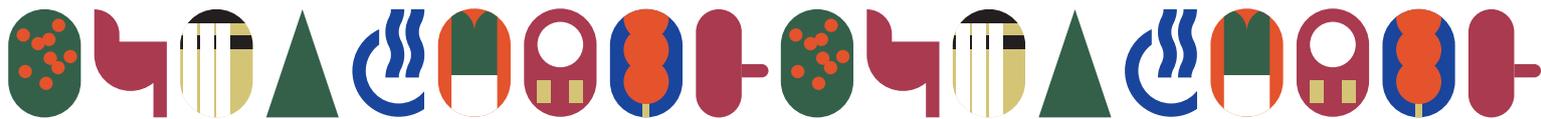
NPOやベンチャーでのプロジェクト運営に携わり、2009年群馬県庁入庁。在職時は業務内外で遊休不動産を活用したエリアリノベーションや群馬県官民連携PJチームを立ち上げ、中核を担う。

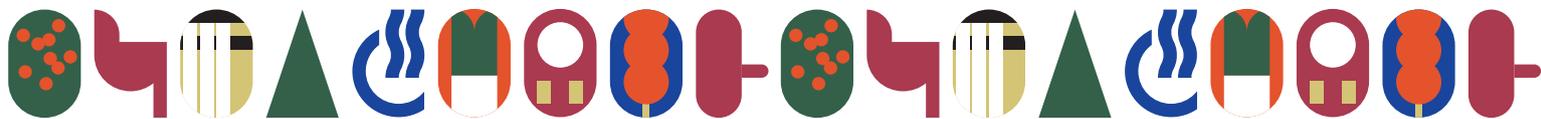
2023年3月末で県庁から独立、同年4月に「craft-life」を創業。自治体のメンタリング事業を始める。

さらに、同年10月に仲間と共に「株式会社いろという」を設立し、桐生・みどりエリアの暮らしの再生事業を始める。

また、その他にも桐生西宮神社の経営など、パラレルな生き方・暮らし方を通じて、未来に向けた地域づくりを進めている。

■メールアドレス iro.to.iro.company@gmail.com ■電話番号 080-8167-0367 ■連絡情報まとめQR ⇒





カメラ画像のAI解析を活用した 太田市街地渋滞対策実証実験

群馬県 県土整備部 都市計画課 道路交通計画室 道路計画係

■ はじめに

群馬県では「県土整備プランDXアクション」の一環として、交通量調査におけるカメラ画像のAI解析の取組みを進めており、将来的には道路状況(渋滞・積雪・冠水等)の状態監視等、データを用いたインフラの効率的な整備・維持管理への活用を目指しています。

一方、太田市の中心市街地において国道407号を中心に主要渋滞箇所が密集しており、市街地全体で効果的な渋滞対策が求められています。

そこで太田市街地に設置された道路ライブカメラの画像をAI解析し、検知した渋滞状況を電光掲示板(デジタルサイネージ)を用いてリアルタイムで道路利用者に提供することで、市街地を目的地としていない車両に迂回を促し中心市街地の渋滞緩和を図る実証実験を実施しました。

■ 実施概要

1. 実施期間

・令和7年4月7日(月)～令和7年4月25日(金)の平日(計15日間)

2. 実施対象

・安良岡北交差点(国道122号と国道407号の交差点)から太田市街地に流入する車両

3. 実証実験用機器の設置箇所

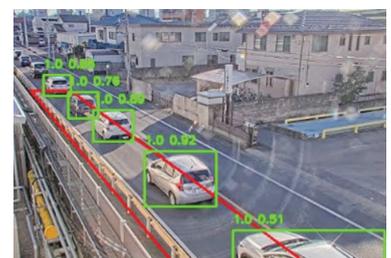
- ・渋滞検知用道路ライブカメラ
国道407号(東本町交差点付近)
- ・電光掲示板(デジタルサイネージ)
国道122号・国道407号
(安良岡北交差点付近)

4. 実施概要

- ・渋滞検知用道路ライブカメラのカメラ画像をAI解析し、中心市街地の渋滞状況を検知
- ・検知した渋滞状況を電光掲示板(デジタルサイネージ)に表示し、渋滞情報を道路利用者に提供
- ・渋滞情報の提供により道路利用者の迂回行動を促し、市街地の渋滞緩和効果を検証



実施概要図(位置図)



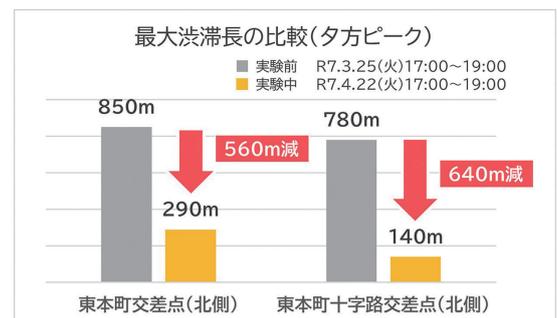
道路ライブカメラ映像(AI解析)



電光掲示板

■ 実施成果

太田市街地の主要交差点等で実施した、実証実験前と実証実験中の渋滞長・交通量調査を比較すると、国道407号「東本町交差点」「東本町十字路交差点」北側に発生していた渋滞の長さが約600m減少したほか、国道122号「安良岡北交差点」から太田市街地へ流入する交通量の割合が低減するなど、今回の実証実験における渋滞情報の表示により中心市街地の渋滞状況が改善したと考えられる結果が得られました。

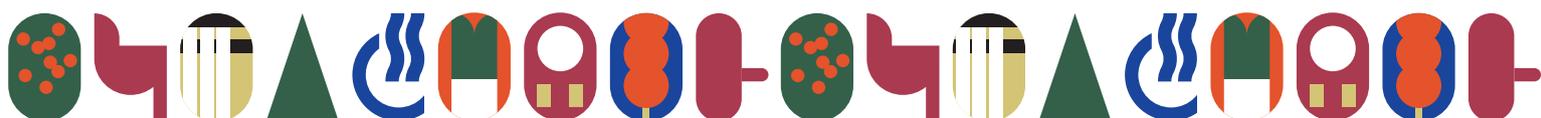


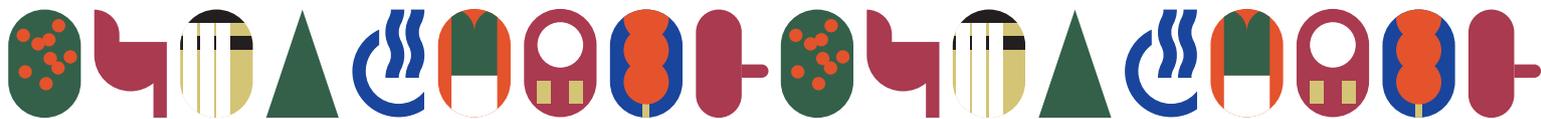
実験前・実験中の最大渋滞長の比較

■ おわりに

今後はより詳細な、車両1台1台の移動データを分析することで、実証実験中に市街地全体の交通の流れがどのように変化したのかさらに掘り下げた検証を行い、実証実験で得られた効果や課題を整理していきたいと考えています。

引き続きまちづくりと一体となった道路空間再編への一つの取り組みとして、デジタル技術を活用した渋滞箇所の効率的かつ効果的な対策を推進し、ウォークアブルでにぎわいのあるまちなか創出の支援となれば、と考えています。





富岡市景観まちづくり講演会 ～街の歴史と景観を生かした街づくり～

富岡市 建設水道部 都市計画課

富岡市では、景観形成の推進と市民景観意識の向上を目的として、平成21年度から「富岡市景観まちづくり講演会」を開催しています。令和7年3月16日(日)に富岡製糸場 国宝「西置繭所」にて開催し、一般の方から行政関係者まで、約100名の皆様にご参加いただきました。今回は、「地域主体の景観まちづくり」をキーワードに、地域住民が地域活性化のために実践してきた事例に焦点を当てました。



講演会の様子

■ 講演会の講話内容

今回の講演会では、「街の歴史と景観を生かした街づくり」を演題に、株式会社テラスオフィス代表取締役社長の田村寛さんにご登壇いただきました。田村さんは、新潟市中央区の沼垂地区にある郷土料理店「大佐渡たむら」



田村寛さん

の店主である一方、ご自身が生まれ育った商店街の再生にも取り組まれ、令和5年度ふるさとづくり大賞優秀賞(総務大臣表彰)を受賞されています。シャッター通りと化した商店街を再生するため、「ここに来ないと出会えないヒト・モノ・空間」「古くて、新しい沼垂」をコンセプトとし「沼垂テラス商店街」を誕生させました。街の歴史・文化・景観等を地域資源として生かしたさまざまな取組を行いながら、起業の場や移住定住者の創出など、地域活性化に貢献されています。田村さんは、「地元の子どもたちが大人になったとき、自分の生まれ育った街が、自慢できる場所であってほしい」という想いのもと、今あるモノや風景を生かした、地域住民を巻き込んだまちづくりのお話に、聴講者の共感と感心を集めていました。

■ 景観賞表彰

講演会では、富岡市景観賞表彰式を併せて開催しました。令和6年度は、景観の向上に顕著な功績が認められた、「第26区(上黒川)」と「丹生のほたるを守る会」の2団体が表彰されました。いずれの団体も、住民が協力し合い、地域の景観保全に向けた自主的なまちづくり活動に取り組んでおり、富岡市景観づくり会議の審議においても、高く評価されました。



第26区(上黒川)の活動例

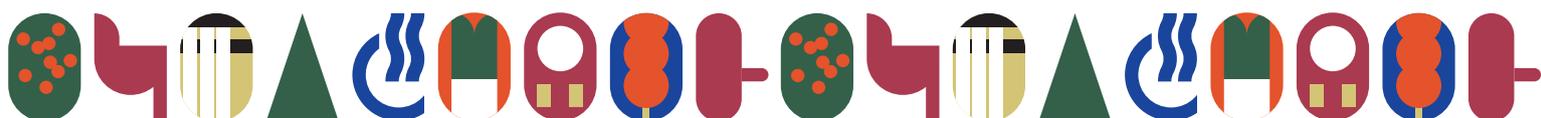


丹生のほたるを守る会の活動例

■ 景観行政としての想い

富岡市においても、世界遺産「富岡製糸場」を有する一方、市街地では高齢化や後継者不足により空き家・空き店舗の増加が課題となっています。今回の田村さんの講演を通じて、まちづくりには明確なコンセプトと、それを実行するためのスピード感が重要であることを改めて認識しました。世界遺産を有する強みを発信しつつ、それ以外の魅力ある地域資源を生かしたまちづくりの重要性を感じ、今後の富岡市にとって大変有益な講演となりました。

今後も富岡市では、景観まちづくり講演会などを通して、景観啓発事業を進めて参ります。





マーチィ's ROOM

マーチィに訊け！

今回は特別編！

今年4月4日に新著『自治体の土木担当になったら読む本』を上梓されました、伊勢崎市治水課長 橋本 隆様より1ページご執筆いただきました☆



いちばんやさしい入り口へようこそ！

伊勢崎市治水課長 橋本 隆

私をご紹介する拙書は「都市計画や土木って、どんな本から読めばいいの?」という悩みに寄り添う3冊です。「都市計画や土木の実務がイメージできない…」こんな不安を感じたことはありませんか?私も新規採用職員の頃、法令や制度だけでなく、専門用語の多さにも戸惑いながら、手探りで学んだ記憶があります。右も左もわからない中、窓口や電話の問い合わせには答えなければならない。そんな状況で「やさしく教えてくれる本があったらな」と感じた経験が、3冊の原点になっています。

■ 初心者がスイスイ理解できる道しるべ

『自治体の都市計画担当になったら読む本』(学陽書房)

都市計画とは何か?という基本から、用途地域や開発許可の考え方、都市計画図の見方まで、実務に必要な知識を図解でやさしく解説しています。転入したばかりの方や「都市計画という言葉は知っているけど、中身はよくわからない」という方にぴったりの入門書です。



■ 技術系公務員の働き方の基本が学べる教科書

『これだけは知っておきたい! 技術系公務員の教科書』(学陽書房)

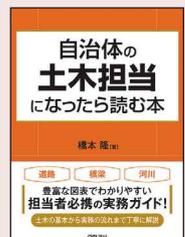
技術系公務員の働き方に焦点を当てた数少ない教科書です。公務員としての仕事の進め方など、専門知識の前に知っておきたいノウハウを紹介しています。技術系公務員が経験する「あるある」な場面を取り上げながら、現場で役立つ知識を学ぶことができます。



■ ビジュアルかつ現場目線で解説する実務ガイド

『自治体の土木担当になったら読む本』(学陽書房)

道路・橋梁・河川などの社会資本の整備や管理を行う上で、土木担当に求められる実務ノウハウをまとめています。現場の感覚を大切に構成で、測量・設計・施工だけでなく維持管理まで幅広くカバー。豊富な図表とやさしい語り口から無理なく理解できます。



これらの3冊は、実務者が実務者向けに書いた本です。法律、制度や専門用語だけでなく、実務で「ここが知りたかった!」という要所を重視しています。読み進めるうちに、「私の職場でもあったな」「こうすればよかったのか」と思わず頷いてしまう場面があるはずですよ。

■ e-JINZAI for governmentウェブサイト(ビズアップ総研)

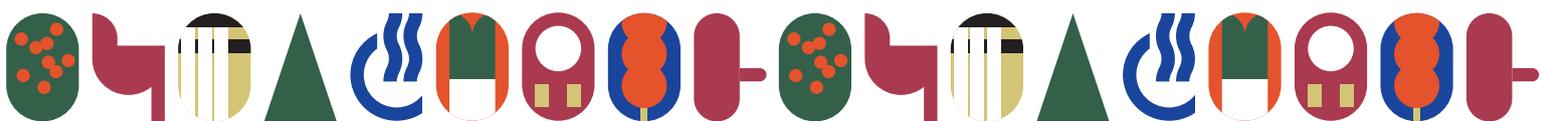
<https://www.ejinzai.jp/government/administration-management/technical-staff/>

近年、多くの自治体がeラーニング研修を導入しています。私が講師を務め、3冊の要点をお伝えする土木職基本業務研修の動画がビズアップ総研によるe-JINZAI for governmentで公開されました。所属団体が視聴契約をしていればいつでも視聴できますし、未契約団体でも無料でお試し視聴ができます。スキマ時間を活用したい方にお勧めです。

都市計画や土木の実務に携わったばかりの頃は、戸惑うことも多いでしょう。はじめの一步は、誰でも不安ですよ。でも、やさしい入り口と正しいガイドがあれば、少しずつ着実に成長できます。ぜひ3冊を実務の味方として活用しながら、自信を持って一步を踏み出してください。私も皆さんのはじめの一步を心から応援しています。

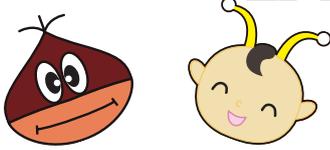


e-JINZAI
for government





まちづくり イベント情報



大島の火まつり

夏のお盆に行われる百八燈の行事で、毎年、その年にちなんだ文字を地元の人たちがまつり当日に決め、闇夜にその文字が浮かび上がります。

■8月16日(土) 19:30から点火
■城山(大島地区)
【お問い合わせ先】
(一社) 富岡市観光協会
Tel. 0274-62-6001



富岡花火大会

大島の火まつりと同時開催され、夏の夜空に約1,000発の花火が打ち上げられます。富岡合同庁舎駐車場から観覧することもできます。

■8月16日(土) 19:45~20:15(予定)
■和合公園
【お問い合わせ先】
(一社) 富岡市観光協会
Tel. 0274-62-6001



2025おうら祭り

邑楽町最大のイベント。子どもから大人まで楽しめるイベント盛りだくさん。フィナーレの打上花火は約8,000発。夏の夜空を盛大に彩ります。

■8月17日(日) 13:00~20:30
■おうら中央多目的広場
【お問い合わせ先】
邑楽町役場商工振興課
(おうら祭り実行委員会事務局)
Tel. 0276-47-5026



千代田の祭 川せがき

約150年の歴史を持つ伝統行事です。水難者供養と平和への祈りを込め、利根川河川敷で灯ろう流しや打上花火などが行われます。

■8月18日(月) ※荒天の場合19日(火)に順延
18:00~21:00
■群馬県邑楽郡千代田町赤岩地先
利根川河畔
【お問い合わせ先】
千代田の祭川せがき
実施委員会事務局
(千代田町役場 産業振興課)
Tel. 0276-86-7005



とねふるさと風のまつり、 老神温泉納涼花火大会

子供から大人まで楽しめるイベントです。夏休み最後の思い出づくりに是非お越しください!

■8月24日(日) 15:00~21:00(予定)
■利根老神多目的広場
【イベントに関するお問い合わせ先】
利根町観光協会
Tel. 0278-20-5050
【宿泊に関するお問い合わせ先】
老神温泉観光協会
Tel. 0278-56-3013



洪川市20周年記念事業 日本のまんなか洪川へそ祭り

「日本のまんなか洪川へそ祭り」は、おなかに絵を描いて踊るユニークなお祭りで、洪川市を代表する祭りです。メインイベントの「へそ踊りパレード」は、どなたでも飛び入り参加ができます。

■9月6日(土) 13:00~21:00
■洪川市新町五差路周辺
【お問い合わせ先】
洪川へそ祭り
実行委員会事務局
(洪川商工会議所内)
Tel. 0279-25-1311



中之条ビエンナーレ2025

2年に1度開催される国際現代芸術祭。温泉街や木造校舎など町内各所でアート作品の展示、演劇、身体表現などのパフォーマンス、マルシェなどを開催します。

■9月13日(土)~10月13日(月・祝)の31日間無休
9:30~17:00
■中之条町内
約55ヶ所
【お問い合わせ先】
中之条ビエンナーレ事務局(イサマムラ)
Tel. 0279-75-3320



洪川市20周年記念事業 令和7年度「伊香保まつり」

伊香保まつりは、伊香保温泉のシンボル石段街の頂上に鎮座し、伊香保の歴史を見守り続けてきた伊香保神社の例大祭で、元来9月19日・20日で行われてきましたが、戦後、徳富蘆花の命日である9月18日を蘆花祭として加え、現在のまつりの日程が定着しました。

■9月18日(木)~9月20日(土)
■伊香保石段街、伊香保神社、徳富蘆花記念文学館
【お問い合わせ先】
伊香保まつり実行委員会
(洪川伊香保温泉観光協会内)
Tel. 0279-72-3151



2025東吾妻ふるさと花火

第3回を迎える「東吾妻ふるさと花火」。観客との距離が近く夜空を彩る大輪の花は大迫力!ぜひご来場ください。

■9月20日(土) ※荒天の場合は翌日に順延
15:00会場 19:00花火打ち上げ
■東吾妻スポーツ広場
【お問い合わせ先】
東吾妻ふるさと花火実行委員会
(町まちづくり推進課内)
Tel. 0279-68-2111



しんとう・よしおか しんきちマルシェ

棟東村・吉岡町内の事業者を中心に、物販や体験ワークショップを行います。県内からキッチンカーも大集合!

■9月20日(土) 10:00~16:00
■ジョイホンパーク吉岡
【お問い合わせ先】
棟東村産業振興課
Tel. 0279-54-2211
吉岡町産業観光課産業振興室
Tel. 0279-54-3111



たんばら星空観察会

標高1,300mの玉原高原で、漆黒の夜空に浮かぶ満天の星空を観察しませんか?雨天、曇天時は室内で星座や宇宙の説明をします。

参加費: 大人500円 小・中300円(未就学児無料)
■①9月20日(土) ②9月21日(日) ③10月11日(土)
④10月12日(日) 19:30~20:30(受付19:00~)
■たんばら東急リゾート駐車場
【お問い合わせ先】
事前申し込み必要です。
沼田市観光協会HPからアクセスし入力フォームで申込
沼田市観光協会
Tel. 0278-25-8555



総合建設コンサルタント

株式会社 **アイ・ディー・エー I.D.A**

コンストラクションマネジメント/インフラメンテナンス/都市計画・まちづくり/防災・減災事業/指定管理事業など、官民連携に関する広範囲な事業展開



群馬県高崎市倉賀野町4221番地13
TEL 027-384-6600
FAX 027-384-6601
URL: <https://www.ida-web.jp>

官民連携事業でお困りの際は、当社までお気軽にご相談ください。



県立公園アイ・ディー・エー群馬の森
指定管理者(令和6年度~)

マーチィの独り言



8月はイベントやお祭りがたくさんあってどこも賑わっていますね。群馬県内でもまちづくりイベントが目白押しです!ただ、夏本番となりましたので、お出かけの際は熱中症に十分気をつけてくださいね。マーチィは、日傘とハンディファンの二刀流で今年の夏を乗り越えます。

ところで、今回から「おっ!まちい〜」の紙面デザインをリニューアルしましたが、いかがでしたか。皆さんにさらに親しんでもらえるように、これからも注目記事やイベント情報を発信していきますので、ぜひご愛読ください!

有料広告を随時募集しています。詳細につきましては、下記のお問い合わせ先まで、お気軽にご連絡下さい。



【お問い合わせ先】群馬県県土整備部都市計画課企画推進係

TEL 027-226-3661 URL <https://www.pref.gunma.jp/page/11493.html>